

2022年度「CSR委員会 全国一斉ZOOMミーティング」議事メモ

【日時】 2022年9月6日（火） 15:00～17:00

【会場】 WEB会議

【出席者】 *大城委員長

<敬称略>

北海道	*池田	青森	比内	秋田	*近藤	宮城	大沼
やまがた	森	福島	*酒井	新潟	*鈴木	長野	桐島
群馬	石田	栃木	廣田	茨城	*河合	埼玉	澁田
千葉	東	神奈川	*吉野	山梨	大久保	東京	*小野
東京	高橋	静岡	渡辺	愛知	浅井	岐阜	磯谷
三重	*生川	三重	石川	富山	*三上	石川	宮野
福井	宮下	滋賀	勝見	京都	坪倉	奈良	*森井
大阪	大西	兵庫	壺内	和歌山	*西川	岡山	*山田
岡山	篠崎	鳥取	齊藤	島根	阿部	広島	末廣
広島	染川	山口	*田坂	徳島	平岡	香川	石川
愛媛	葛川	高知	尾崎	福岡	鶴田	大分	*三浦
佐賀	中原	長崎	泉	宮崎	川崎	熊本	*植村
鹿児島	小川	沖縄	井上				

*=CSR委員会メンバー

【オブザーブ】 小田島会長、横山副会長、石川理事、廣瀬会長（東京代協）、
粕谷室長（代理店経営サポートデスク）

【事務局】 金澤専務理事、大谷部長

【司会】 池田副委員長 【議事録】 事務局

議 事

1. 小田島会長挨拶

- ・本日はCSR委員会全国ミーティングに参加いただき感謝申し上げます。また、日頃より代協活動を各地で展開いただいていること心より感謝申し上げます。
- ・各地で台風の被害はでていないだろうか。天候情報はキャッチしやすくなっているので活用しながら減災に繋げていければと思っている。
- ・本年6月に会長に就任し、これから皆様と共に様々な取り組みを推進して参るのでよろしくお願ひしたい。
- ・さて、本日は、日本代協で1番若い大城委員長が新しい感覚で先頭に立ち、CSR委員の皆さんが準備したプログラムである。代協活動を通して、どのようにしたら社会そして地元地域への貢献ができるのか、本業に結び付くような活動になるかを分かりやすく説明いただけると思う。
- ・ミーティング参加にあたり「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール15年動画」を視聴いただいていると思うが、3年前CSR委員長だったころ損保会館の会場で大勢の小学生と共に表彰式に参加し、子どもたちの頼もしい後ろ姿と小学生が続けて

きた成果が防犯、防災に役立っていることを実感し胸が熱くなったことを思い出した。そこで、世話役の方が、子どもたちと一緒に街を点検する、自分たちの街を好きになる、大人と会話をする活動を通して多くの人たちに協力をいただくことで、街が安全になるだけでなく、地域のつながりが出来たとおっしゃっていたのが印象に残っている。

- ・今、地方の高齢化、少子化が問題になっているが、私たちは地域でこれからもお客さまと共にあるので、少しでも活性化、行動のヒントがCSR活動にあると思っている。
- ・本日は、たくさん議論して、共有して、多くを持ち帰っていったらと思っている。

2. 横山副会長挨拶

- ・本日は、お忙しい中 2022 年度 CSR 委員会 全国一斉 Zoom ミーティングにご出席いただき感謝申し上げます。
- ・また、各都道府県代協の皆さまには日頃より多大なるご尽力、ご協力を賜り、この場を借りて御礼申し上げます。
- ・本日は Web 会議形式ではありますが、全国の CSR 委員の皆さまが一堂に会する機会が設けられたことは、画期的なことだと感じている。全国各地の皆さんと一体感を感じられる絶好の機会だと思い大変楽しみにしている。
- ・CSR 委員会の皆さまには、申すまでもございませんが、CSR 活動は代協の中でも、とりわけ、事業推進においてリアルな行動が伴うミッションを背負っている。我々の本業である損害保険販売に携わる者は、リスクの専門家として社会に貢献することを使命としている。
- ・激甚化する自然災害、パンデミックやサイバーテロによる生活や企業活動への不安など、世の中のリスクは多岐にわたってきており、そのリスクの移転として保険は存在するが、それはあくまでも最終手段であり、本来はリスクを回避することで、その損害を起こさない、あるいは、最小限に食いとどめることが大切である。
- ・我々代理店、あるいは一人の募集人の力では自ずと限界があるものである。しかし、個の集団、それも知識と経験が豊富なプロの保険募集人が集まることで、大きな力となることは言うまでもないことである。
- ・その意味において、CSR 委員会に関わる皆さまの創意工夫によって、防災、減災、縮災、防犯の意識を高める社会の構築は、成し得るものだと考えている。
- ・CSR 委員会 全国一斉 Zoom ミーティングの目的は、「CSR 委員の皆さまの知識・情報の平準化」「ぼうさい探検隊の稼働促進」「マイタイムライン・逃げキッド勉強会」であり、当委員会の事業について改めて共通の認識をもって全国展開を推進していくところである。
- ・「ハザードマップ」「マイタイムライン」の周知と浸透、「地震保険の普及と促進」「子ども 110 番の保険代理店の推進」「サイバーセキュリティ対策」や「無保険車追放運動」と、その活動の範囲は幅広く、皆さまが大変ご苦労されている部分であろうと思っている。
- ・今年度のCSR 委員会は、大城委員長を中心に、山田さん、池田さんの両副委員長

の体制で6月からスタートし、ご承知の通りAチームは山田副委員長、Bチームは池田副委員長をリーダーに活動テーマを明確にして継続活動の実施に取組み、各ブロックから選出された12名の委員長の皆さんも熱をもって真剣に、そして真摯にCSRの各事業に向き合っており、誠に頼もしい限りである。

- ・ブロック内の活動を細部にわたって報告し、抱える課題の全てを日本代協と都道府県代協の皆さんと共有し推進していただきたいと思っている。
- ・本日、全国の委員長の皆さまと、こうして画面上ではあるがお話することで、好事例や抱える課題を共有し、それぞれの代協での活動への一助となることを期待している。是非、忌憚のない意見をご披露いただき、活発な議論となりますことを心から期待しております。

3. 大城委員長挨拶

- ・本日は、台風による甚大な被害が宮古島で発生しているなど、昨今の温暖化の影響による災害の激甚化を感じている。
- ・全国的にも風が強かったり、台風の影響がある地域もあると思うので、2時間という短い時間ではあるが、身の安全を第一に考慮いただきながら最後まで参加いただきたい。

4. 2022年度 CSR 委員会の取組みについて

事前配布資料「CSR委員会 全国一斉 Zoom ミーティング」に基づき、大城委員長がCSR委員の紹介、全国一斉 Zoom ミーティングの目的、CSR委員会の取組みについて説明を行った(質疑応答については会議終了後のアンケートに記載いただくよう依頼)。

5. マイタイムラインと逃げキッド勉強会

事前配布資料「マイタイムラインと逃げキッド」に基づき、粕谷室長から説明があった。

6. 好事例取組み発表(ぼうさい探検隊)

ぼうさい探検隊の取組みについての好事例取組みの共有があった。

酒井委員(福島県代協)

実際に街歩きした写真から、小学生の視点での危険個所を紹介し大人目線との違いを共有した。

- ・親(祖父母)として子どもの危険がどこにあるのかを知っていただくために、まずは自分たちで参加してみたい。
- ・先般の富山での不幸な事故や集団登校中の列へ車が突っ込んでしまった事故等、おそらくこれから防水路への柵やガードレールの設置がされるだろうが、それでは遅すぎる。大人目線だと遅いので、親として、大人として子ども目線で危険を知っておく必要があるのではないかと感じた。
- ・まずは、自分の子どもなど身近なところからぼうさい探検隊に参加することを強くお勧めする。

植村委員(熊本県代協)

昨年のマップコンクールでキッズリスクアドバイザー賞(日本代協賞)を受賞した作品の取組み動画を視聴した。

- ・動画は九州北部豪雨（令和元年7月）で被災した人吉地区の神社周辺を周り、神主や巫女さんから当時の被災した状況をヒアリングしたものである。
- ・子どもの親たちも、子どもたちの防災意識を高めようと積極的に協力していただいた結果、楽しみながらマップ作成しながら命の大切さを知った中で、自分たちが助ける側に回ることの大事さを知ってもらい、逃げ方（逃げさせ方）を子どもたち自身が主体的に活動できるようになってくれたと感じた。
- ・前回、せっかく賞をいただいたので、この活動を熊本県内にも伝えたく新聞社への取材依頼をし活動内容の紹介を行った。

7. グループディスカッション（30分間）〈敬称略〉

テーマ「ぼうさい探検隊 取り組み強化について」

- Aグループ リーダー：池田（北海道）
メンバー：比内（青森）、近藤（秋田）、大沼（宮城）、森（やまがた）
- Bグループ リーダー：鈴木（新潟）
メンバー：桐島（長野）、石田（群馬）、吉野（神奈川）、大久保（山梨）
- Cグループ リーダー：河合（茨城）
メンバー：廣田（栃木）、澁田（埼玉）、東（千葉）、小野（東京）、高橋（東京）
- Dグループ リーダー：三上（富山）
メンバー：渡辺（静岡）、浅井（愛知）、磯谷（岐阜）、生川（三重）、石川（三重）、宮野（石川）、宮下（福井）
- Eグループ リーダー：酒井（福島）
メンバー：勝見（滋賀）、坪倉（京都）、森井（奈良）、大西（大阪）、壺内（兵庫）
- Fグループ リーダー：山田（岡山）
メンバー：篠崎（岡山）、齊藤（鳥取）、阿部（島根）、末廣（広島）、染川（広島）、田坂（山口）
- Gグループ リーダー：西川（和歌山）
メンバー：平岡（徳島）、石川（香川）、葛川（愛媛）、尾崎（高知）
- Hグループ リーダー：三浦（大分）
メンバー：鶴田（福岡）、中原（佐賀）、泉（長崎）
- Iグループ リーダー：植村（熊本）
メンバー：川崎（宮崎）、小川（鹿児島）、井上（沖縄）

※グループディスカッションの討議内容についてはディスカッションシート参照

8. まとめ（大城委員長）

- ・一部のディスカッショングループに参加させていただいたが、胸を打つような話や気付かなかった事例などが共有されていて非常に参考になった。時間の関係で発表は行わないが、グループ毎にディスカッション内容を纏めていただき後日参加者には全グループのシートを連携する。

- ・改めて好取組事例の報告を聞いて、ぼうさい探検隊というコンテンツが子どもたちを守るという意味で効果的なものだ実感した。今後も皆さまの取組みを参考にし、より強力で推進させていきたいので、協力をお願いしたい。
- ・地域の教育委員会や大きい団体とタイアップすることは効果的ではあるが、時間もかかるので継続しながら、まずは身近なところから活動していただきたい。

10. 横山副会長所感

- ・本日は、長時間にわたり、お疲れ様でした。
- ・この全国一斉会議に先立ち、日本代協 CSR 委員会のメンバーで今回のテーマとなった「ぼうさい探検隊」の推進についての意見交換が行われた。そこでは、この事業を前進させていくためには、「まずは自分で体験してみること」「もっと各代協の皆さんの意見や悩みに耳を傾けるべきだ」等の意見があり、本日の会議に臨んだ。
- ・粕谷室長には、マイタイムラインと逃げキッドの活用方法につき、非常にわかりやすく説明いただきましたので、皆さんが実際に自らの街で実施する際には大いに参考にさせていただきたいと思う。
- ・また、好取組事例では、福島の酒井委員、熊本の植村委員から発表いただきましたが、動画で拝見したその活動は、心に響かないわけではないと思った。
- ・グループディスカッションでは、各グループの討議を拝聴しましたが、いろいろな意見が出されており、このミーティングを受けて委員会でしっかり把握した内容を各委員から情宣していくことになるかと思う。
- ・ややもすると、ぼうさい探検隊をやってもらう人たちを探すことが目的となってしまうが、もう一度、この事業の本来の目的に立ち返って、なぜ代協がこの事業に参画し、子どもたちに防災、防犯、交通安全のマップを作成してもらうのか、原点に立ち返って考えていくことが大切なのではないかと感じた。そして、その活動が自治体をも動かしている状況である。
- ・社会は今、何を必要としているのか？必要としているものに対して、我々は何ができるのか？何をしなければならないのか？そう考えた時、この CSR 委員会の活動は、これまで以上に輝きをもって大きな成果をもたらすものとする。今回の全国一斉 Zoom ミーティングの成果は、大城委員長から日本代協に報告いただくことになるかと思う。
- ・Zoom で参加いただいている小田島会長も CSR 委員会委員長として活動をされた、まさに OG いらっしゃいますので、皆さまからの生の声を参考に、今後の日本代協運営のヒントにもされたかと思う。
- ・今後とも、CSR 委員会の活動にご理解とご協力をいただき、我々のミッションをしっかりと果たして参りましょう。

以上

「ぼうさい探検隊」取り組み強化 ディスカッションシート

グループ名： A

書記： 比内（青森県代協）

諮問事項	日本代協の組織として社会的責任を果たし、各代協会員が地域貢献を行うとともに、地域の安心安全に関するリスクアドバイザーと認知され存在価値を高めていく観点から以下の3点を行う。 ①防災・減災の具体的取り組みの検討・推進 ②継続活動の情宣効果向上に向けた検討（地震保険・子ども110番・無保険車追放） ③「ぼうさい探検隊」の積極推進
ディスカッションの目的	ぼうさい探検隊マップ作成は防災・減災の取り組み、代協の存在価値の認知に直結するものである。応募促進の阻害要因の洗い出し、障壁の解消、開催のノウハウ、実施した効果や本業への貢献に関する情報を収集する。

ディスカッション① 応募促進に関して困っていること、障壁となっていること

ぼうさい探検隊の応募に関して困っていること、分からないこと、開催までの流れや他の理事や支部への働きかけの方法等自由に話し合ってください。

- 比内（青森）：自分でやったことがない、学校にまだ案内で持っていったいない、これから案内していきたい市の教育委員会と連携したい
- 森（山形）：合同の委員会、どうせやるなら楽しくやりたい、県代協を知ってもらおう活動へ発展させたい
- 大沼（宮城）：小学生のお子さんがいらっしゃる方に個別に案内をしている、夏休みの思い出を兼ねてご案内したところ、申込に至った流れがわからなかったから酒井さんからいただいて案内した
- 近藤（秋田）：長く実施していただいた学校が合併により難しくなった学校ではなく、地域の子供会へのアプローチ、東能代地域、自治会長さんを通じてご案内予定学校側は難しそう
- 池田（北海道）：小学生対象、三冠王ではなかった、北海道は広いので最低件数が多い（3件⇔5件以上）学童へ案内した、今はタブレット、良さを伝える、防災体験隊を経験した小学生に事例を聞く大阪の事例紹介

ディスカッション② ノウハウ・実施した効果、参加者の感想や良かったこと

ぼうさい探検隊当日の流れや必要な段取り、効果的な訪問箇所について話し合ってください。開催後の子供たちの反応や感想、よかった点はありますか。

上記に同じ
※時間の都合上、テーマを分けられませんでした（各自が一巡して終了）

※具体的な方法やノウハウは実際に行ったものでなくても構いません。予想やアイデアの段階でも共有下さい。

※当シートについては後日取りまとめて全参加者に報告いたします。今後の活動にお役立てください。

「ぼうさい探検隊」取り組み強化 ディスカッションシート

グループ名： 鈴木隊（B）チーム

書記： 吉野

<p>諮問事項</p>	<p>日本代協の組織として社会的責任を果たし、各代協会員が地域貢献を行うとともに、地域の安心安全に関するリスクアドバイザーと認知され存在価値を高めていく観点から以下の3点を行う。 ①防災・減災の具体的な取り組みの検討・推進 ②継続活動の情宣効果向上に向けた検討（地震保険・子ども110番・無保険車追放） ③「ぼうさい探検隊」の積極推進</p>
<p>ディスカッションの目的</p>	<p>ぼうさい探検隊マップ作成は防災・減災の取り組み、代協の存在価値の認知に直結するものである。応募促進の阻害要因の洗い出し、障壁の解消、開催のノウハウ、実施した効果や本業への貢献に関する情報を収集する。</p>

ディスカッション① 応募促進に関して困っていること、障壁となっていること

ぼうさい探検隊の応募に関して困っていること、分からないこと、開催までの流れや他の理事や支部への働きかけの方法等自由に話し合ってください。

【新潟】鈴木 本年度目標達成 大きな規模の団体は時間要 今後は個人的に直接依頼

【山梨】大久保 ほぼ達成 学校等には来年度 夏休みの活動を意識し早めの案内

【長野】霧島 目標これから 支部毎に活動バラつきあり 達成支部には各団体（PTA・学校・保険会社等）に積極的に案内

【神奈川】吉野 コロナの影響もあり小規模（家族単位）へ案内

ディスカッション② ノウハウ・実施した効果、参加者の感想や良かったこと

ぼうさい探検隊当日の流れや必要な段取り、効果的な訪問箇所について話し合ってください。開催後の子供たちの反応や感想、よかった点はなんですか。

案内時について

- ・大規模団体（PTA・学校・子供会等）は時間がかかる為、長期的に計画する
- ・作成（地図）アドバイス等も含め、夏休み作成に向け早めに案内
- ・家族単位等の小規模団体は案内しやすいが、子供の卒業等を等をふまえると、長期的活動できる大規模団体へ案内必要

【新潟】鈴木よりまとめ

直接お話して依頼。その際、ノルマ等ではなく、活動の目的、思いを伝える。

ex. ・島の中のたった一つの信号機 ・子ども達の安全の為の学習用

※具体的な方法やノウハウは実際に行ったものでなくても構いません。予想やアイデアの段階でも共有下さい。

※当シートについては後日取りまとめて全参加者に報告いたします。今後の活動にお役立てください。

「ぼうさい探検隊」取り組み強化 ディスカッションシート

グループ名： Cグループ 書記： 河合

諮問事項	日本代協の組織として社会的責任を果たし、各代協会員が地域貢献を行うとともに、地域の安心安全に関するリ スクアドバイザーと認知され存在価値を高めていく観点から以下の3点を行う。①防災・減災の具体的な取り組みの検討・推進 ②継続活動の情宣効果向上に向けた検討（地震保険・子ども110番・無保険車追放）③「ぼうさい探検隊」の積極推進
ディスカッションの目的	ぼうさい探検隊マップ作成は防災・減災の取り組み、代協の存在価値の認知に直結するものである。応募促進の 阻害要因の洗い出し、障壁の解消、開催のノウハウ、実施した効果や本業への貢献に関する情報を収集する。また、マスコミを活用した社会認知やSNSの効果的な活用等、活動の周知方法を横展開する。

ディスカッション① 応募促進に関して困っていること、障壁となっていること

（千葉）主旨・流れの説明がうまくできない。学校の卒業生経由、毎年やるのが当たり前。イメージがわかりやすいツールがあると良い。

（栃木）カウントになる時期がわからない。⇒応募・提出

（埼玉）学校のスケジュールが合わない。3団体予定（理事メンバー）

（東京）伝えることが難しい。簡単に伝えられるツールが必要。各支部1件 must。8月に早期達成目標。

（茨城）理事会で時間を取り、まずは理事メンバーに体験してもらおう。長期的にはJCとの連携模索。

ディスカッション① 障壁をクリアする方法のアイデア

（千葉）ツール要。同じトークができるように、同じ時間軸で。プロセスの確立。いつなにをどうする。

（栃木）動きをルーティン化、毎年それをやる。

ディスカッション② ノウハウ・実施した効果、参加者の感想や良かったこと

（埼玉）色んな取組みを聞いてよかった。

<東京代協の取組み>

5月スタートは遅い。コロナもあり。PTA・学校は長期目標で。短期目標⇒まずは1件。支部長に電話でお願いする等、まずは会員の家族から。

※具体的な方法やノウハウは実際に行ったものでなくても構いません。予想やアイデアの段階でも共有下さい。※当シートについては後日取りまとめて全参加者に報告いたします。今後の活動にお役立てください。※今後の連絡を密にするため可能であればブロックのメンバーのLINEグループや連絡網をお作り下さい

「ぼうさい探検隊」取り組み強化 ディスカッションシート

グループ名： Dグループ

書記：

諮問事項	日本代協の組織として社会的責任を果たし、各代協会員が地域貢献を行うとともに、地域の安心安全に関するリスクアドバイザーと認知され存在価値を高めていく観点から以下の3点を行う。 ①防災・減災の具体的取り組みの検討・推進 ②継続活動の情宣効果向上に向けた検討（地震保険・子ども110番・無保険車追放） ③「ぼうさい探検隊」の積極推進
ディスカッションの目的	ぼうさい探検隊マップ作成は防災・減災の取り組み、代協の存在価値の認知に直結するものである。応募促進の阻害要因の洗い出し、障壁の解消、開催のノウハウ、実施した効果や本業への貢献に関する情報を収集する。

ディスカッション① 応募促進に関して困っていること、障壁となっていること

ぼうさい探検隊の応募に関して困っていること、分からないこと、開催までの流れや他の理事や支部への働きかけの方法等自由に話し合ってください。

石川県 子供会や小学校を回るが、コロナで断られる。

岐阜県 役員の子供や学童を回っているが、うまくいかない。

三重県 学童の保護者の方に、夏休み中やってほしいと頼むが、暑さで活動ができない。

ディスカッション② ノウハウ・実施した効果、参加者の感想や良かったこと

ぼうさい探検隊当日の流れや必要な段取り、効果的な訪問箇所について話し合ってください。開催後の子供たちの反応や感想、よかった点はなんですか。

福井県 昨年、前委員長の知り合いに声をかけ、ボーイスカウトの団体が複数応募となった。参加賞としてランタンの贈呈。

愛知県 各支部1団体応募を目標に働きかけ。7~8団体を目標に動いている。

静岡県 各支部1団体を目標に活動中。ボーイスカウトに働きかけ。

富山県 理事の子供さん、保険会社の職員、昨年度活動していただいた方に働きかけ。

福井県 動画を視聴して、子どもと一緒に活動することの大切さを感じた。

※具体的な方法やノウハウは実際に行ったものでなくても構いません。予想やアイデアの段階でも共有下さい。

※当シートについては後日取りまとめて全参加者に報告いたします。今後の活動にお役立てください。

「ぼうさい探検隊」取り組み強化 ディスカッションシート

グループ名： 酒井さんチーム (Eグループ) 書記： 勝負

諮問事項	日本代協の組織として社会的責任を果たし、各代協会員が地域貢献を行うとともに、地域の安心安全に関するリ スクアドバイザーと認知され存在価値を高めていく観点から以下の3点を行う。 ①防災・減災の具体的な取り組みの検討・推進 ②継続活動の情宣効果向上に向けた検討（地震保険・子ども110番・無保険車追放） ③「ぼうさい探検隊」の積極推進
ディスカッション の目的	ぼうさい探検隊マップ作成は防災・減災の取り組み、代協の存在価値の認知に直結するものである。応募促進の 阻害要因の洗い出し、障壁の解消、開催のノウハウ、実施した効果や本業への貢献に関する情報を収集する。

ディスカッション① 応募促進に関して困っていること、障壁となっていること

ぼうさい探検隊の応募に関して困っていること、分からないこと、開催までの流れや他の理事や支部への働きかけの方法
等自由に話し合ってください。

●コロナ禍もあり、色々な団体に依頼するが集まってくれない活動が難しく、理事・役員家族中心での応募がメインとなっている。●毎年
継続的に取り組んでもらえる団体などの仕組みづくりが難しい。●ぼうさい探検隊をたくさんの人に知ってもらえるような活動をど
うすればよいか。

ディスカッション② ノウハウ・実施した効果、参加者の感想や良かったこと

ぼうさい探検隊当日の流れや必要な段取り、効果的な訪問箇所について話し合ってください。開催後の子供たちの反応や
感想、よかった点はなんですか。

●消防団(ジュニア消防団)に作成依頼をしている。●小学校・ボーイスカウト・児童館にて作成。●親
子で参加される防災セミナーでのご案内。●教頭会に出席し説明。●役員などの知り合いの団体に声掛
けの依頼。

※具体的な方法やノウハウは実際に行ったものでなくても構いません。予想やアイデアの段階でも共有下さい。

※当シートについては後日取りまとめて全参加者に報告いたします。今後の活動にお役立てください。

「ぼうさい探検隊」取り組み強化 ディスカッションシート

グループ名： 山田さん(F)チーム

書記： 田坂 信介

<p>諮問事項</p>	<p>日本代協の組織として社会的責任を果たし、各代協会員が地域貢献を行うとともに、地域の安心安全に関するリスクアドバイザーと認知され存在価値を高めていく観点から以下の3点を行う。 ①防災・減災の具体的な取り組みの検討・推進 ②継続活動の情宣効果向上に向けた検討（地震保険・子ども110番・無保険車追放） ③「ぼうさい探検隊」の積極推進</p>
<p>ディスカッションの目的</p>	<p>ぼうさい探検隊マップ作成は防災・減災の取り組み、代協の存在価値の認知に直結するものである。応募促進の阻害要因の洗い出し、障壁の解消、開催のノウハウ、実施した効果や本業への貢献に関する情報を収集する。</p>

ディスカッション① 応募促進に関して困っていること、障壁となっていること

ぼうさい探検隊の応募に関して困っていること、分からないこと、開催までの流れや他の理事や支部への働きかけの方法等自由に話し合ってください。

- 【岡山】市内の学校や学童保育にDMを送り、声掛けをするも反応なし。今年もDMは発送した。
- 【鳥取】団体に応募依頼などはしておらず、理事を中心に応募の協力をお願いしている。
- 【島根】CSR委員は今年が初めて。ぼうさい探検隊は知っているが詳しい知識が少なかった。コロナのことと暑さでなかなか応募が少ない状況。
- 【広島】2014年8月に広島では大きな土砂災害があったり、水害のあった学校など市民も防災について関心があったが現在は過去の出来事になりつつある様子。地域に役立つように、引き続き応募促進に取り組む。
- 【山口】同じくCSR委員は今年、初めて就任。CSR活動の取り組み知識に乏しい。ぼうさい探検隊の応募促進は、理事を中心に各支部長に依頼しているが思うように応募促進はできていない。

ディスカッション② ノウハウ・実施した効果、参加者の感想や良かったこと

ぼうさい探検隊当日の流れや必要な段取り、効果的な訪問箇所について話し合ってください。開催後の子供たちの反応や感想、よかった点はなんですか。

- ≪15周年記念のYouTube動画の感想≫
- 【岡山】子ども目線と大人目線で危険な場所の気づきが違うことに目からウロコでした。
 - 【鳥取】大人目線ではなく、なるべく子ども目線に近づくようにして今後も取り組む。
 - 【島根】子ども目線が大切だということが改めて分かった。
 - 【広島】地域の組織力ある団体と代協の密接な関係が必要と感じた。
 - 【山口】15周年記念の動画も、本日の好取組事例の動画も、小学生が自分たちの住んでいる地域の防災・減災のために一生懸命にマップづくりに取り組んでいる姿は感動した。この活動は一般の方々が見られても感動すると思った。
- ≪ノウハウ・実施した効果、参加者の感想や良かったこと≫
- 【岡山】地域の方々で小学生に会う機会が少ないと仰っていたが、お孫さんや家族で通学路を一緒に歩いてみる等の提案ができた。
 - 【島根】ぼうさいマップ提出者の感想を聞いたところ、“交通事故・危険箇所・AEDや消化器が置いてある場所等が自然と気になるようになった”とのこと。いずれも子ども目線が大切なことを改めて理解した。
 - 【広島】広島県代協の各委員会と連携して、広島県代協全体で結束してCSR委員の活動に取り組んでいく方針。地域防災、子ども見守り隊の活動者の方々も、普段子どもたちと挨拶程度はするが日常会話は無い状態。ぼうさい探検隊を通して危険な道の指摘や確認ができて、高齢者の方々は子どもたちと会話ができることを喜んでおられる。
 - 【山口】ぼうさい探検隊の応募促進は理事～各支部支部長に頼っているので、なかなか結果が出ない状況。応募に際しての簡単なマニュアル（今後、誰もが使えるものなど）があると応募促進がしやすくなるかも。

※具体的な方法やノウハウは実際に行ったものでなくても構いません。予想やアイデアの段階でも共有下さい。

※当シートについては後日取りまとめて全参加者に報告いたします。今後の活動にお役立てください。

「ぼうさい探検隊」取り組み強化 ディスカッションシート

グループ名： 四国(G)グループ

書記： 西川

諮問事項	日本代協の組織として社会的責任を果たし、各代協会員が地域貢献を行うとともに、地域の安心安全に関するリスクアドバイザーと認知され存在価値を高めていく観点から以下の3点を行う。 ①防災・減災の具体的な取り組みの検討・推進 ②継続活動の情宣効果向上に向けた検討（地震保険・子ども110番・無保険車追放） ③「ぼうさい探検隊」の積極推進
ディスカッションの目的	ぼうさい探検隊マップ作成は防災・減災の取り組み、代協の存在価値の認知に直結するものである。応募促進の阻害要因の洗い出し、障壁の解消、開催のノウハウ、実施した効果や本業への貢献に関する情報を収集する。

ディスカッション① 応募促進に関して困っていること、障壁となっていること

ぼうさい探検隊の応募に関して困っていること、分からないこと、開催までの流れや他の理事や支部への働きかけの方法等自由に話し合ってください。

今までは代協会員10名以上連れ学童や小学校で取組できた。今はコロナでできない。（何でもコロナで言い訳できる）

会議今年に入りリアル開催できる。今まではLINEで通じてZOOM通じて。意思疎通が難しい。代協の意義を話す機会もない。

温度差があり会員に伝わらない、伝えようと試みるが拒否が積もると、伝える側の気も失せる。

ぼうさい探検隊でお互い感謝無しで終われば辛いものが残るだけ、そのあとは実施意欲に気が失せる。実施に結びつかない。件数だけのぼうさい探検隊に意味はなし。今までしてきたポリシー、誇りがある。（大勢の団体、スタッフ充実させた取組）

日本代協、損保協会、各代協、お互いの立場において⇒コミュニケーション不足、お互いの尊重なんか感じもしない。

コロナで逃げている訳でもない、コロナ各自責任分かるが本当に人数多い団体実施できない、議論も必要なのでは。

3年間ひとりだけでぼうさい探検隊を実施してきた。代協からはひとりの活動に、代協CSR委員会からの経費なんか出せない。

（3冠王で収入入った分ぐらいお礼言えよと思う。）（引継ぎもなければ、理事会へ書類出して承認、なんの協力も得られない）

やれやれだけで、何の労いもフォロー電話もない。中途経過確認に電話ライン入るが数字の事ばかりに聞こえる。

未だに支部会、理事会ZOOMで浸透できない。

一度二度受けたハザードマップ説明、すみませんが取組んで実践している者にとっては貴重な時間返せと。

ディスカッション② ノウハウ・実施した効果、参加者の感想や良かったこと

ぼうさい探検隊当日の流れや必要な段取り、効果的な訪問箇所について話し合ってください。開催後の子供たちの反応や感想、よかった点はなんですか。

正直今までに母が危篤で亡くなった日、ぼうさい探検隊を実施した。実施した親からのお礼電話。使命感や責任感だと思う。

昔は大勢の団体でできたが、今は少人数でも良いのかなと感じる（コロナ、タブレット方式）

タブレット方式は、前委員長とやって見たが面白い、楽しい。過去に大きな表彰もらった事がある。

子ども、指導者、関係者。全員が楽しくできて感謝がお互い言えることで、取り組んで良かった実感になる。

子ども目線と一緒にいる。気が付くことが沢山ある。教育、指導もしないといけない。

わかっているようでわかっていないことがある。子どもから教わることもある。

子供達に大切な命を守る為に防災士資格もとり、注意喚起するには何回も経験を積み重ねてきた。子供からも学ぶ。

子ども目線で見ると立派なことよな。ぼうさい探検隊に誇りを持っている。

皆それぞれのやり方があり、取組や熱意も違う、技術やテクニックではないと思う。実施することが大切。

※具体的な方法やノウハウは実際に行ったものでなくても構いません。予想やアイデアの段階でも共有下さい。

※当シートについては後日取りまとめて全参加者に報告いたします。今後の活動にお役立てください。

「ぼうさい探検隊」取り組み強化 ディスカッションシート

グループ名：九州北ブロック(Hグループ) 書記：福岡県代協 鶴田哲也

諮問事項	日本代協の組織として社会的責任を果たし、各代協会員が地域貢献を行うとともに、地域の安心安全に関するリスクアドバイザーと認知され存在価値を高めていく観点から以下の3点を行う。 ①防災・減災の具体的取り組みの検討・推進 ②継続活動の情宣効果向上に向けた検討（地震保険・子ども110番・無保険車追放） ③「ぼうさい探検隊」の積極推進
ディスカッションの目的	ぼうさい探検隊マップ作成は防災・減災の取り組み、代協の存在価値の認知に直結するものである。応募促進の阻害要因の洗い出し、障壁の解消、開催のノウハウ、実施した効果や本業への貢献に関する情報を収集する。

ディスカッション① 応募促進に関して困っていること、障壁となっていること

ぼうさい探検隊の応募に関して困っていること、分からないこと、開催までの流れや他の理事や支部への働きかけの方法等自由に話し合ってください。

- ・ぼうさい探検隊を予定していた物の、コロナに感染した為、夏休み実施する事が出来ず作成できなかった。
- ・毎年参加していたが、今年は小学校を卒業して作品作成に参加できなくなった。（個別参加だと継続参加が困難。）
- ・毎年参加していると、テーマや同じ場所での探検隊マップ作成時、子供達の作成意欲が弱くなる。
- ・支部会員に呼び掛けても、対象の子供たちがおらず、応募団体ができにくい。

ディスカッション② ノウハウ・実施した効果、参加者の感想や良かったこと

ぼうさい探検隊当日の流れや必要な段取り、効果的な訪問箇所について話し合ってください。開催後の子供たちの反応や感想、よかった点はなんですか。

- ・市議会議員さんに声かけして、知人の団体、個人に探検隊を紹介しボランティア活動に参加してもらおう。
また知り合いの地元の議員を紹介してもらおう。
- ・興味を持ってもらえそうな人に、個別に声かけして参加してもらった。
- ・育成クラブに防災出前講座を提案し、ぼうさい教育の中で、ぼうさいマップ作成を紹介し、応募してもらおう。
- ・損害保険会社（損保会の会長に声かけ）から協力頂き、紹介いただけるグループを紹介してもらった。
毎年会長さんが交代するので、「前年度協力頂いたので」と言い、新しい紹介をしていただいた。
- ・昨年参加いただいた、団体・個人に声かけして参加がして頂けた。
- ・タブレットでの作成数が増えてきた、声かけはしやすい。昨年タブレットで参加した方が、紙での参加に切り替えられた方もある。

※具体的な方法やノウハウは実際に行ったものでなくても構いません。予想やアイデアの段階でも共有下さい。

※当シートについては後日取りまとめて全参加者に報告いたします。今後の活動にお役立てください。

「ぼうさい探検隊」取り組み強化 ディスカッションシート

グループ名：九州南ブロック(グループ) 書記：植村敬子

諮問事項	日本代協の組織として社会的責任を果たし、各代協会員が地域貢献を行うとともに、地域の安心安全に関するリスクアドバイザーと認知され存在価値を高めていく観点から以下の3点を行う。 ①防災・減災の具体的な取り組みの検討・推進 ②継続活動の情宣効果向上に向けた検討（地震保険・子ども110番・無保険車追放） ③「ぼうさい探検隊」の積極推進
ディスカッションの目的	ぼうさい探検隊マップ作成は防災・減災の取り組み、代協の存在価値の認知に直結するものである。応募促進の阻害要因の洗い出し、障壁の解消、開催のノウハウ、実施した効果や本業への貢献に関する情報を収集する。

ディスカッション① 応募促進に関して困っていること、障壁となっていること

ぼうさい探検隊の応募に関して困っていること、分からないこと、開催までの流れや他の理事や支部への働きかけの方法等自由に話し合ってください。

- ・おやじの会というPTAとはまた違う父親の会に興味をもってもらったので、昨年説明に行ったが結局作ってはもらえなかった。一般の方に製作してもらうことの難しさを感じている。(鹿児島)
 - ・北海道の池田委員長が沢山製作されているのでその実施方法を発表いただきたい。(鹿児島)
 - ・コロナが感染拡大した中で夏休みを迎えたので今年は小学校は案内しても無反応だった。(沖縄)
 - ・小学生のぼうさいマップの案内が日本代協から届く時には小学校は年間行事がすでに決まっており、活動を学校として取り組んでいただくことが難しい。(鹿児島)
 - ・昨年子供110番の代理店一括登録を活かしたマップ製作依頼をしているがまだ今年は申し込まない。(宮崎)
 - ・コロナが感染拡大してない時は児童館でよく製作してもらっていたが今は厳しい。(沖縄)
 - ・小学校へ案内を30校以上出して連絡したが、実施連絡なし。(熊本)
- 本年度はまだ大変厳しい製作状況だが、あきらめず達成する、と全県委員長言っておりました。

ディスカッション② ノウハウ・実施した効果、参加者の感想や良かったこと

ぼうさい探検隊当日の流れや必要な段取り、効果的な訪問箇所について話し合ってください。開催後の子供たちの反応や感想、よかった点はなんですか。

- ・保護者にしっかり協力いたたげると子供たちも一生懸命取り組んでくれた。(熊本)
- ・ぼうさいマップを製作した子供たちは、その楽しさや意義を知り研究熱心になる事例があった。(熊本)
- ・支部の会員さんの中には毎年製作してくれるリピーターがいる。(全県)
- ・街歩きの前に保護者がヒアリングをする先を選定段取りをしていてくれた。(熊本)
- ・子供110番の保険代理店の昨年の一括登録をしたのでPTA連合会に依頼している。(宮崎)
- ・奥の手はやはり代協役員さんの家族に作ってもらうこと。(鹿児島)
- ・支部に協力してもらい前年製作した団体にリピート依頼をした。(宮崎)

※具体的な方法やノウハウは実際に行ったものでなくても構いません。予想やアイデアの段階でも共有下さい。

※当シートについては後日取りまとめて全参加者に報告いたします。今後の活動にお役立てください。